



会計データからカーボンニュートラルへの取り組み

本資料では、会計データを活用したカーボンニュートラルへの取り組みについて解説します。企業が環境負荷を可視化し、持続可能な経営を実現するために、会計データがどのように役立つのかを詳しくご紹介します。

Gron Co., Ltd.



会計データの重要性

会計データは、企業の財務状況を把握する上で不可欠な情報です。

環境負荷を可視化し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを効果的に進めるためにも、会計データの活用が重要です。



1 コスト管理

環境負荷低減のための投資や対策にかかるコストを把握することができます。

2 排出量管理

事業活動に伴う温室効果ガス排出量を正確に把握することができます。

3 効率化

データ分析により、環境負荷を抑制するための効率的な対策を検討することができます。

4 透明性

ステークホルダーに対して、企業の環境取り組みを透明性を持って開示することができます。



カーボンニュートラルの概要

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを目標とする考え方です。

企業は、事業活動に伴う温室効果ガス排出量を削減し、再生可能エネルギーなどの利用によって排出量を相殺することで、カーボンニュートラルを目指します。

1

排出量削減

省エネ技術の導入、再生可能エネルギーの利用などにより、温室効果ガスの排出量を削減します。

2

吸収量増加

植林や森林保全などにより、大気中の二酸化炭素を吸収する量を増やします。

3

排出権取引

排出削減量が不足する場合、排出権取引を通じて他の企業から排出権を購入します。

会計データの活用方法

会計データは、カーボンニュートラルに向けた取り組みを効果的に進めるために、様々な場面で活用できます。

例えば、環境負荷の可視化、排出量の算定、コスト管理、投資判断などに役立ちます。

環境負荷の可視化

事業活動におけるエネルギー消費量、原材料使用量などのデータを分析し、環境負荷を可視化します。

排出量の算定

事業活動に伴う温室効果ガス排出量を正確に算定するために、会計データを活用します。

コスト管理

環境負荷低減のための投資や対策にかかるコストを把握し、効率的なコスト管理を実現します。



課題と対策

会計データを活用したカーボンニュートラルへの取り組みには、いくつかの課題があります。

データの精度や信頼性、データの収集・分析体制の整備などが挙げられます。

課題	対策
データの精度	データの品質管理、データ入力の正確性確保
データの信頼性	第三者機関による認証取得、データの透明性確保
データの収集・分析体制	データ分析専門人材の育成、データ分析システムの導入

事例紹介

多くの企業が会計データを活用したカーボンニュートラルへの取り組みを進めています。

例えば、再生可能エネルギーへの投資、サプライチェーンにおける排出量の可視化、環境負荷の低減に向けた目標設定などが挙げられます。

企業A

再生可能エネルギーへの投資を拡大し、事業活動に伴う排出量を大幅に削減しました。

企業B

サプライチェーン全体で排出量を可視化し、協力企業との連携による排出量削減に取り組んでいます。

企業C

環境負荷の低減に向けた具体的な目標を設定し、会計データに基づいた進捗管理を行っています。

Gron Co., Ltd.





期待される効果

会計データを活用したカーボンニュートラルへの取り組みは、企業にとって様々なメリットをもたらします。

環境負荷の低減、コスト削減、企業価値向上などが期待できます。

1

環境負荷の低減

事業活動に伴う環境負荷を低減することで、地球環境保護に貢献します。

2

コスト削減

省エネや資源効率化により、コスト削減を実現することができます。

3

企業価値向上

ESG投資家の関心を集め、企業価値向上に繋がります。

Gron Co., Ltd.





株式会社Gronの実力

上場企業から中小企業まで、業務改善やDX導入、新規事業立ち上げを実際に手掛けてきた経験を活かし、会計データをもとに現状を分析しながら、細かな改善を積み重ねていくことを得意としています。削減すべき課題を見つけ出した後、実際に改善を進めるには、現場での実行力と根気が不可欠です。株式会社Gronでは、その実行力を持ち、着実に成果を出すサポートを提供します。

Gron Co., Ltd.



まとめ

会計データは、企業がカーボンニュートラルを実現するための重要なツールです。

本資料で紹介した内容を参考に、会計データの活用を検討し、持続可能な経営を目指しましょう。

株式会社Gron
代表取締役
折原 史寛

Gron Co., Ltd.

